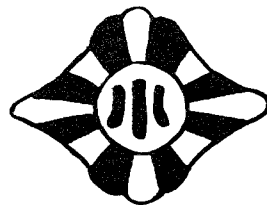


学校紹介

シリーズ4

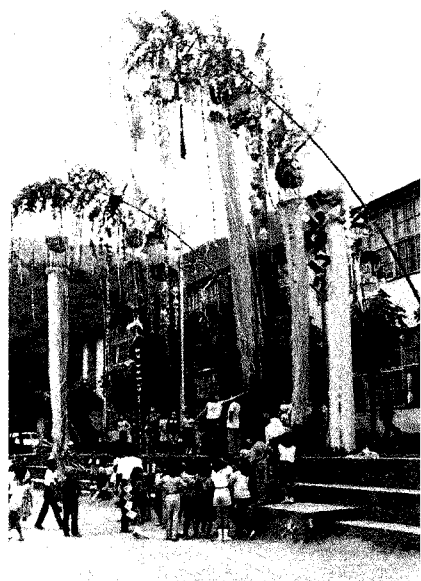


旭 小

旭小学校は、都留市朝日馬場五四四番地（海拔五〇〇m）に所在しています。

児童総数は九十八名と、市内八つの小学校のなかでは、いちばん小じんまりとまとまっています。

この地は雛鶴峠を隔てて秋山村と接する、旧鎌倉往還の街道に沿



▲豪華な七夕かざり

っており、雛鶴姫や護良親王にまつわる伝説が豊富にあります。

伝説のなかで、追手を逃れてこの山里に落ち延びた護良親王の側近を、村人は手厚く介護したと言われています。——こうした人情細やかな、やさしい心が脈々と生きづいて、旭小学校の児童にはどの学校にも負けない、強い意志と心やさしい姿がみえています。

伝統ともなっている便所の清掃は、使うものへの思いやりと、労苦をいとわない奉仕精神のなによりあらわれています。

また、規模が小さいせいもありますが、児童たちはたいへん仲がよく、上級生は下級生をいたわり下級生は上級生を、兄姉のようにしたっています。

こうした点は、どこの学校にもみられない、旭小学校の大きな特徴となっています。

菊の苗を自分の鉢に 植えかえて得意満面



菊づくりに いい汗を流そう

旭小学校ではいま、全校一人一鉢の菊づくりを行っています。

この菊づくりは、苗床、堆肥づくりから始まって、毎日の水やり支柱づくりなど一連の作業を、すべて児童たちが行うもので、一度はじめたことは、くじけないうで最後まで責任をもってやりとげる習慣を身につけることをねらいの一つとしています。

この秋には、きつとすばらしい大輪の菊が開花することに期待して、児童たちは毎日一生懸命に手入れを行っています。

かがやくひかり、姿・心・力

旭の子ども

旭小学校校長 北村 忠義

空気と緑のきれいな山里、ここ旭小学校には、素直で純朴、そしてなによりも礼儀正しく、勤労を好む児童たちが、めぐまれた環境のなかで心豊かに、すくすくと成長しています。

旭小学校では、新教育課程に示された裁量の時間を、体験学習を主体として活用しています。

例えば、校地に隣接する空畑を借用しての野菜づくりは、児童たちの連帯感強化、勤労の尊さ、理科の課外実習を併せて学ぶよい機会となっています。

また、全校一人一鉢の菊作り運動は、苗床、堆肥作りから開花するまでの一連の細かい作業のなかで、一つのことを最後までやり遂

げる、不屈の精神を養っています。旭小学校の校舎は木造の旧式なものです。校舎内外の環境は市内一清潔感にあふれているものと自負しています。

高い石垣、段々になった裏庭、いつみても雑草一本ありません。狭い校地を利用した学級園、四季より取りの花が競って咲き乱れ、人々の目を惹きつけています。

とりわけ、自慢の一つに、旧式そのものの便所が、日々磨かれ、清掃されて、使用する者の心をさっぱりさせ、たいへん気持ちよい印象を与えていることがあります。

このような良い習慣は、急にやろうとしても出来るものではありません。

たゆまぬ不断の心掛けと、永年培かれた旺盛な奉仕精神のたまものであると思います。

現在、地元の皆様の絶大なるご協力により、十数年来の念願であった屋内体育館とプール建設が着々と進められています。

やがては新校舎も建設され、名実ともにひかりかがやく姿、心、力の旭小学校が実現されると思いますが、この誇り高い奉仕の精神は未来永劫に、スクールカラーとしてはぐくんでいきたいと考えております。

▼たのしい菊づくり

